



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社シャトー・ナカムラ

株式会社中村酒店の2代目中村元太郎は、かねてから高級ワインを専門に扱うお店をもちたいと考えていた。そこで、中村酒店で培ったノウハウや人脈を活かし、横浜みなとみらいに高級ワイン専門の卸売会社である株式会社シャトー・ナカムラ（以下、「シャトー・ナカムラ」）を設立した。お店の規模は小さいが、高級レストランをターゲットにし、稀少価値の高いワインを販売している。

問題 シャトー・ナカムラの設立第1期（平成22年3月期：平成21年4月1日より平成22年3月31日まで）に生じた以下の期中取引を仕訳して、総勘定元帳に転記しなさい。（日付と小書きは省略する。）次に、決算整理前合計残高試算表を作成してから、未処理事項の処理と決算整理を行って、帳簿を締め切り、繰越試算表を作成しなさい。さらに、繰越試算表と損益勘定にもとづいて、貸借対照表と損益計算書を作成しなさい。

- 注意事項
1. 金額の単位は便宜的に小さくしてある。
 2. 円未満の端数は切り捨てること。
 3. 仕訳に使用する勘定科目は次の通りとする。

現金	当座預金	受取手形	売掛金	貸倒引当金
繰越商品	前払金	前払保険料	未収利息	貸付金
仮払金	現金過不足	建物	車両運搬具	備品
減価償却累計額	支払手形	買掛金	借入金	未払利息
未払金	未払法人税等	前受金	仮受金	預り金
資本金	繰越利益剰余金	売上	受取利息	雑益
貸倒引当金戻入	仕入	給料	貸倒引当金繰入	減価償却費
発送費	燃料費	旅費	賃借料	支払保険料
支払利息	手形売却損	雑損	法人税等	損益

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 村上裕太郎が複式簿記の演習問題として作成した。ケース中の企業は架空のものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 村上 裕太郎（2011年5月作成）

1. 総額 30,000,000 円を出資し、シャトー・ナカムラ株式会社を設立した。出資額のうち、1,000,000 円は現金として保有し、残りは全額当座預金とした。
2. 中古の事務所兼店舗用建物を 10,000,000 円で取得し、仲介手数料 1,000,000 円とともに小切手を振り出して支払った。
3. ワインセラー、パソコン等の事務用備品を購入し、代金 1,000,000 円のうち半額は小切手を振り出して支払い、残額は後日支払う約束である。なお、引取運賃 10,000 円は現金で支払った。
4. 商品の搬送に使用するトラックを 3,000,000 円で購入し、代金は付随費用 100,000 円とともに小切手を振り出して支払った。
5. トラック用のガソリン 100,000 円分を購入し、代金は小切手で支払った。
6. 紅葉坂商事から、商品 8,000,000 円分を仕入れ、代金は掛とした。
7. 当会計年度の商品倉庫代および駐車場の賃借料 1,200,000 円を小切手を振り出して支払った。

8. レストラン・ナチュラルに、商品を4,000,000円で売り上げ、代金は同社振出の小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

9. ビストロ・アンサンセに、商品を5,000,000円で売り上げ、代金のうち2,000,000円は同店振り出しの小切手で受け取り、残額は掛とした。

10. 紅葉坂商事から、商品5,000,000円分を仕入れ、代金は掛とした。

11. ビストロ・アンサンセに対する売掛金のうち3,000,000円を同店振出の約束手形で回収した。

12. レストラン自由が丘から、商品2,000,000円分の注文を受け、手付金1,300,000円を現金で受け取った。

13. レストラン自由が丘に商品2,000,000円分を発送し、代金は手付金1,300,000円と相殺し、残額は掛とした。

14. 得意先レストラン自由が丘に3,000,000円を融資するため、同額のの小切手を振り出し、同社に手渡した。融資終了時に元利金を受け取る約束である。

15. レストラン・ナチュラルに商品 5,000,000 円分を売り上げ、代金は掛とした。なお、販売にかかった送料 20,000 円（当店負担）を現金で支払った。

16. 1 年分の火災保険料を現金で支払い、その金額を 250,000 円と記帳した。

17. レストラン・ナチュラルに対する売掛金のうち、4,000,000 円を同社振出の約束手形で回収した。

18. ビストロ・アンサンセ振出の 3,000,000 円の約束手形の期日が到来し、取引銀行から同額の入金当座預金口座にあったとの連絡を受けた。

19. 期首に購入した事務用備品購入代金の残額 500,000 円を、現金で支払った。

20. 新規顧客開拓のための出張旅費概算額 180,000 円を従業員に現金で支払った。

21. 出張先の従業員から、ワインバー・Osaka 振出の小切手 1,500,000 円が送られてきたが、どうい入金なのか確認できていない。

22. 出張中の従業員が戻り、ワインバー・Osaka 振出の小切手 1,500,000 円は、商品 2,000,000 円分の注文に対する手付金であることが判明した。

23. 出張から戻った従業員の出張旅費を精算したところ、実際の旅費は 200,000 円であったことがわかり、残金を現金で支払った。

24. 現金実査を行い、実際の手許現金有高を調べてみると、現金勘定残高よりも 20,000 円多いことがわかった。

25. ワインバー・Osaka に商品 2,000,000 円分を発送し、代金は手付金 1,500,000 円と相殺し、残額は掛とした。なお、この取引にかかった送料 30,000 円（先方負担）は小切手を振り出して支払った。先方負担の送料は売掛金に含めて処理する。

26. 紅葉坂商事に対する買掛金のうち、3,000,000 円を同店を名宛人とする約束手形を振り出して支払った。

27. レストラン・ナチュラル振出の 4,000,000 円の約束手形を金融機関で割り引き、対価として 3,600,000 円を受け取った。対価はただちに当座預金とする。

28. 仕入先紅葉坂商事から、15,000,000 円の融資を受け、同店振出の同額の小切手を受け取り、ただちに当座預金とした。

29. 先の現金過不足 20,000 円を調査したところ、火災保険料 180,000 円を 250,000 円と誤って記載していたことと、燃料費 20,000 円の記帳漏れが判明した。

30. 従業員に給料総計 3,000,000 円を支払った。うち、300,000 円を所得税源泉徴収額として控除する。給料は、当社の当座預金から、従業員の銀行口座へ振り込む。

31. 来年度の商品倉庫、駐車場の賃借料、1,200,000 円を小切手を振り出して支払った。

ここで、決算整理前の合計残高試算表を作成する。

【決算整理事項】

32. レストラン自由が丘に対する貸付金 3,000,000 円は、年利 10.95 パーセントの条件で、11 月 1 日に貸し付けたものである。元利金は、平成 22 年 10 月 31 日に回収であり、金利は 11 月 1 日から発生している。金利は日割計算する。なお、平成 22 年は閏年ではない。

33. 紅葉坂商事からの借入金 15,000,000 円は、年利 7.3 パーセントの条件で、2 月 1 日に借り入れたものである。元利金は、平成 23 年 1 月 31 日に返済予定であり、金利は 2 月 1 日から発生している。金利は日割計算する。なお、平成 22 年は閏年ではない。

34. すでに支払済みの火災保険料 180,000 円は、平成 21 年 12 月 1 日から、平成 22 年 11 月 30 日までの期間に対するものである。保険料は、月割計算する。

35. 期末受取手形残高、期末貸付金残高に対して、それぞれ 3 パーセントの貸倒引当金を設定する。

36. 当社の期末棚卸商品は移動平均法により評価する。下記の商品有高帳を参考にしなさい。受入の単価は仕入値、払出の単価は売値である。

問題番号	受入数量 (本)	単価 (円)	払出数量 (本)
6	2,000	@4,000	---
8	---	@8,000	500
9	---	@10,000	500
10	2,000	@2,500	---
13	---	@5,000	400
15	---	@5,000	1,000
25	---	@5,000	400

37. 当社の当期末現在保有している有形固定資産の減価償却方法は下記のとおりである。(残存価額はすべてゼロとすること。)

	取得原価	取得日	償却方法	償却率 (利用度)
建物	各自推算	平成 21 年 4 月 1 日	定額法	0.02
事務用備品	各自推算	平成 21 年 4 月 1 日	定率法	0.625
車両	各自推算	平成 21 年 4 月 1 日	生産高比例法	(*)

(*) 車両の総走行可能距離は200,000kmで、当期走行距離は15,000kmである。

38. 決算日に至り、現金過不足の残額については原因が判明しなかった。

39. 収益と費用の勘定を損益勘定に振り替え、損益勘定残高を繰越利益剰余金勘定に振り替えたうえで、すべての勘定を締め切る。当社は、英米式決算法を採用している。なお、法人税率は 40 パーセントである。

sample

sample

sample

sample

sample

現金

貸付金

sample

sample

sample

sample

sample

前払金

当座預金

前払保険料

sample

sample

sample

sample

sample

仮払金

sample

受取手形

現金過不足

sample

sample

sample

売掛金

建物

sample

sample

sample

sample

sample

備品

貸倒引当金

車両運搬具

sample

sample

sample

sample

sample

繰越商品

減価償却累計額

sample

未収利息

sample

sample

sample

支払手形
買掛金
借入金
未払金
未払利息
未払法人税等
前受金
預り金
仮受金
資本金

繰越利益剰余金
売上
受取利息
仕入
給料
賃借料
貸倒引当金繰入

sample

sample

sample

sample

sample

減価償却費

損益

旅費

sample

sample

sample

sample

sample

燃料費

sample

sample

sample

sample

sample

発送費

sample

sample

sample

sample

sample

支払保険料

支払利息

手形売却損

sample

sample

sample

sample

sample

雑損

sample

sample

sample

sample

sample

法人税等

sample

sample

sample

sample

sample

決算整理前残高試算表

平成 22 年 3 月 31 日

(単位:円)

借方残高	借方合計	勘定科目	貸方合計	貸方残高
		現金		
		当座預金		
		受取手形		
		売掛金		
		前払金		
		貸付金		
		仮払金		
		現金過不足		
		建物		
		備品		
		車両運搬具		
		支払手形		
		買掛金		
		借入金		
		未払金		
		前受金		
		預り金		
		仮受金		
		資本金		
		売上		
		仕入		
		給料		
		賃借料		
		旅費		
		燃料費		
		発送費		
		支払保険料		
		手形売却損		
		合計		

繰越試算表

平成 22 年 3 月 31 日

(単位:円)

借方	勘定科目	貸方
	現金	
	当座預金	
	受取手形	
	売掛金	
	貸倒引当金	
	繰越商品	
	前払金	
	前払保険料	
	未収利息	
	貸付金	
	建物	
	備品	
	車両運搬具	
	減価償却累計額	
	支払手形	
	買掛金	
	借入金	
	未払利息	
	未払法人税等	
	預り金	
	資本金	
	繰越利益剰余金	
	合計	

区分	金額 (円)	
(資産の部)		
I 流動資産		
現金及び預金		
受取手形及び売掛金		
貸倒引当金		
商品		
前渡金		
前払費用		
未収収益		
短期貸付金		
貸倒引当金		
流動資産合計		
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
建物		
備品		
車両運搬具		
減価償却累計額		
有形固定資産合計		
固定資産合計		
資産合計		
(負債の部)		
I 流動負債		
支払手形		
買掛金		
短期借入金		
預り金		
未払費用		
未払法人税等		
流動負債合計		
負債合計		
(純資産の部)		
I 株主資本		
1. 資本金		
2. 利益剰余金		
株主資本合計		
純資産合計		
負債純資産合計		

損益計算書

株式会社シャトー・ナカムラ

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日

区分	金額 (円)	
I 売上高		
II 売上原価		
1. 当期商品仕入高		
2. 期末商品棚卸高		
売上総利益		
III 販売費及び一般管理費		
給料		
賃借料		
貸倒引当金繰入		
減価償却費		
旅費		
燃料費		
発送費		
支払保険料		
営業利益		
IV 営業外収益		
受取利息		
V 営業外費用		
支払利息		
手形売却損		
雑損		
経常利益		
税引前当期純利益		
法人税等		
当期純利益		

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

不 許 複 製

慶應義塾大学ビジネス・スクール

共立 2011.6 PDF